

H-15BJ シリーズ

HANDHELD TERMINAL

バーコードリーダー制御ライブラリ仕様書

株式会社 オプトエレクトロニクス

目次

1	はじめに.....	1
1.1	対象者.....	1
1.2	関連資料.....	1
1.3	注意事項.....	1
2	概要.....	2
2.1.	ライブラリ.....	2
2.2.	定義.....	3
2.3.	構成.....	3
3.	開発環境構築.....	4
4.	バーコードリーダー制御ライブラリ.....	5
4.1.	GENERAL SETTINGS.....	5
4.1.1.	<i>BCRPowerOn</i>	6
4.1.2.	<i>BCRPowerOff</i>	7
4.1.3.	<i>BCRGetPowerStatus</i>	8
4.1.4.	<i>BCREnableTriggerKey</i>	9
4.1.5.	<i>BCRDisableTriggerKey</i>	10
4.1.6.	<i>BCRGetTriggerKeyStatus</i>	11
4.1.7.	<i>BCRSetTriggerKey</i>	12
4.1.8.	<i>BCRGetTriggerKey</i>	13
4.1.9.	<i>BCRSetOutputMode</i>	14
4.1.10.	<i>BCRGetOutputMode</i>	15
4.1.11.	<i>BCRSetBuzzerStatus</i>	16
4.1.12.	<i>BCRGetBuzzerStatus</i>	17
4.1.13.	<i>BCRSetVibratorState</i>	18
4.1.14.	<i>BCRGetVibratorState</i>	19
4.1.15.	<i>BCRGetSettings</i>	20
4.1.16.	<i>BCRSetSettings</i>	21
4.1.17.	<i>BCRGetSettingsEx</i>	22
4.1.18.	<i>BCRSetSettingsEx</i>	23
4.1.19.	<i>BCRSetDefault</i>	24
4.2.	READING.....	25
4.2.1.	<i>BCRGetBarcode</i>	26
4.2.2.	<i>BCRClearBuffer</i>	27

4.2.3.	<i>BCRAbortScan</i>	28
4.2.4.	<i>BCRTriggerPress</i>	29
4.2.5.	<i>BCRTriggerRelease</i>	30
4.3.	DECODER OPTIONS.....	31
4.3.1.	<i>BCRSetReadableCode</i>	32
4.3.2.	<i>BCRGetReadableCode</i>	33
4.3.3.	<i>BCRSetCodeOptions</i>	34
4.3.4.	<i>BCRGetCodeOptions</i>	35
4.3.5.	<i>BCRSetSuffixChar</i>	36
4.3.6.	<i>BCRGetSuffixChar</i>	37
4.3.7.	<i>BCRSetReadMode</i>	38
4.3.8.	<i>BCRGetReadMode</i>	39
4.3.9.	<i>BCRSetReadTimeOption</i>	40
4.3.10.	<i>BCRGetReadTimeOption</i>	41
4.3.11.	<i>BCRSetMarginCheck</i>	42
4.3.12.	<i>BCRGetMarginCheck</i>	43
4.3.13.	<i>BCRSetRedundancy</i>	44
4.3.14.	<i>BCRGetRedundancy</i>	45
4.3.15.	<i>BCRSetNegativeBarcode</i>	46
4.3.16.	<i>BCRGetNegativeBarcode</i>	47
4.3.17.	<i>BCRSendCommand</i>	48
4.3.18.	<i>BCRGetCommand</i>	49
4.4.	NOTIFICATION.....	50
4.4.1.	<i>BCRGetReadNotification</i>	51
4.4.2.	<i>BCRGetLastReadEventStatus</i>	52
4.5.	INFORMATION.....	53
4.5.1.	<i>BCRGetFirmwareVersion</i>	54
4.5.2.	<i>BCRGetDriverVersion</i>	55
4.5.3.	<i>BCRGetLibraryVersion</i>	56
4.6.	2D-IMAGER SETTINGS.....	57
4.6.1.	<i>BCRSetCameraLEDMode</i>	58
4.6.2.	<i>BCRGetCameraLEDMode</i>	59
4.6.3.	<i>BCRSetCameraAimerMode</i>	60
4.6.4.	<i>BCRGetCameraAimerMode</i>	61
4.6.5.	<i>BCRSetCentralReadingMode</i>	62
4.6.6.	<i>BCRGetCentralReadingMode</i>	63
4.6.7.	<i>BCRSetCollectiveLabelNumber</i>	64
4.6.8.	<i>BCRGetCollectiveLabelNumber</i>	65

4.6.9.	<i>BCRSetTriggerRepeatMode</i>	66
4.6.10.	<i>BCRGetTriggerRepeatMode</i>	67
4.6.11.	<i>BCRTakeSnapShot</i>	68
5.	定義	69
5.1.	構造体	69
5.1.1.	<i>BCR_CODE_OPTIONS</i>	70
5.1.2.	<i>BCR_READABLE_CODES</i>	75
5.1.3.	<i>BCR_READ_OPTIONS</i>	77
5.1.4.	<i>BCR_READ_OPTIONS_2D</i>	78
5.1.5.	<i>BCR_CAMERA_OPTIONS</i>	79
5.1.6.	<i>BCR_SETTINGS</i>	80
5.1.7.	<i>BCR_SETTINGS_EX</i>	82
5.2.	列举体	84
5.2.1.	<i>SYMBOLOLOGY_ID</i>	85

図 目 次

現在、本文中に図がありません。

表 目 次

表 1	： ライブラリ機能一覧.....	2
表 2	： 構造体一覧.....	3
表 3	： 列挙体一覧.....	3
表 4	： ファイルの構成.....	3
表 5	： General Settings 関数一覧.....	5
表 6	： トリガキーと仮想キーコード.....	12
表 7	： Reading 関数一覧.....	25
表 8	： Decoder Options 関数一覧.....	31
表 9	： Notification 関数一覧.....	50
表 10	： Information 関数一覧.....	53
表 11	： 2D-Imager Settings 関数一覧.....	57
表 12	： 構造体一覧.....	69
表 13	： バーコードのオプション変数.....	70
表 14	： バーコードのチェックディジット変数.....	71
表 15	： バーコードのチェックディジット変数（オプション）.....	72
表 16	： バーコードのスタート/ストップキャラクタ変数.....	73
表 17	： バーコードの特殊設定変数.....	74
表 18	： 列挙体一覧.....	84
表 19	： バーコードの列挙定数一覧.....	86

1 はじめに

本書は、バーコードリーダーを制御するライブラリ仕様書です。提供する API に含まれる関数のパラメータや戻り値などの詳細情報を提示します。

1.1 対象者

本書は、H-15BJ シリーズのソフトウェアの開発者を対象としています。
また、C および C++ 言語の文法に関する知識を持っていることを前提としています。

1.2 関連資料

H-15BJ シリーズに関連するライブラリは大別して 2 種類、本書に記述するバーコードリーダー制御関係と、システム制御関係があります。また、C# や VB.NET を使用する .NET 環境でのプログラミングに対応したクラスライブラリも提供しています。

- H-15BJ システム制御ライブラリ仕様書
- H-15BJ バーコードリーダー制御ライブラリ仕様書（本書）
- H-15BJ システム制御クラスライブラリ仕様書
- H-15BJ バーコードリーダー制御クラスライブラリ仕様書

1.3 注意事項

- バーコードリーダーが読み取り動作中（LED 点灯中）はバーコードに関する各種設定を変更できません。設定を変更する場合は、読み取りを中止した後に行ってください。（読み取り中止関数：BCRAbortScan、BCRTriggerRelease）
- 本書にある「ブザー」とは H-15BJ のシステムでは通常のサウンド再生を示しております。
- 本書には読取コードとして JAN [Japanese Article Number] の記述がございませんが、H-15BJ は本コードに対応しております。JAN とは日本国内での名称で、海外では一般的に EAN [European Article Number] と呼ばれております。そのため、JAN をご使用になる場合は、EAN を JAN としてご理解の上ご活用ください。

2 概要

2.1. ライブラリ

本ライブラリに含まれる機能を以下の表に示します。

表 1 : ライブラリ機能一覧

分類	機能	備考
General Settings	バーコードリーダーのオン/オフ	
	トリガキーの設定	
	ブザーの設定	
	バイブレータの設定	
	バーコードの出力方法	
	全設定のバックアップ/リストアおよび初期化	
Reading	バッファからのデータ取得	
	スキャン停止	
	ソフトウェア・トリガボタンの押下/解放	
Decode Options	読み取り可能なコードの選択	
	読み取りに関する詳細設定	
	出力方法の選択	
	読み取り時間とモードの設定	
	コマンド送信および最後に送信したコマンドの取得	
	スキャン角の設定	
Notification	デバイスに関する通知	
	読み取りに関する通知	
Information	ファームウェアのバージョン	
	モジュールの種類	
	ドライバのバージョン	
	バーコードリーダー制御ライブラリのバージョン	
2D-Imager Settings	LED モードの設定	
	エイミングの設定	
	中央読み取りモードの設定	
	同時に読み取るラベルの個数	
	画像取得とデコードの設定	

2.2. 定義

本ライブラリで共通につかっている構造体と列挙体があります。これらを下記に記述いたします。また、列挙体は構造体 BCR_CODE_OPTIONS 内部で特定の型として使用されています。基本的に列挙体を用いる引数は、定義された値以外を設定することはできません。

表 2 : 構造体一覧

名前	解説	備考
BCR_CODE_OPTIONS	各種バーコードごとの詳細設定に関する情報を含んでいます。	
BCR_READABLE_CODES	読み取りが許可されたバーコード種に関する情報を含んでいます。	
BCR_READ_OPTIONS	読み取りに関する設定情報を含んでいます。	
BCR_SETTINGS	バーコードリーダに関する全ての情報を含んでいます。	

表 3 : 列挙体一覧

名前	解説	備考
SYMBOLLOGY_ID	各種バーコードの名称を定義しています。	

2.3. 構成

表 4 : ファイルの構成

ファイル名	解説	対象	提供方法	備考
bcrctl.h	BCR 制御用ヘッダファイルです。	PC(開発環境)	開発キット	
bcrctl.dll	BCR 制御用 DLL ファイルです。	HHT	標準実装	
bcrctl.lib	BCR 制御用ライブラリファイルです。	PC(開発環境)	開発キット	

上記の表で HHT は H-15BJ 本体を示しております。

3. 開発環境構築

アプリケーションを開発するためには、ご使用の PC 上に適切な環境を整える必要があります。

環境の構築、また、本ライブラリを使用する方法については「アプリケーション開発キット for H-15BJ」に添付されている「H-15BJ アプリケーション開発ガイド」に詳しく記述されていますので、そちらをご参照ください。

4. バーコードリーダ制御ライブラリ

本ライブラリで提供する API 関数を紹介します。

4.1. General Settings

表 5 : General Settings 関数一覧

関数名	解説	備考
BCRPowerOn	バーコードリーダの電源を入れます。	
BCRPowerOff	バーコードリーダの電源を切ります。	
BCRGetPowerStatus	バーコードリーダの電源状態を取得します。	
BCREnableTriggerKey	トリガキーを有効にします。	
BCRDisableTriggerKey	トリガキーを無効にします。	
BCRGetTriggerKeyStatus	トリガキーの有効/無効状態を取得します。	
BCRSetTriggerKey	トリガキーとして用いるキーを設定します。	
BCRGetTriggerKey	トリガキーとして設定されているキーの情報を取得します。	
BCRSetBuzzerStatus	ブザーの音量とそれに使用するファイルを設定します。	
BCRGetBuzzerStatus	ブザーの音量とそれに使用するファイルの現在状態を取得します。	
BCRSetVibratorState	バイブレータの使用有無およびその振動時間を設定します。	
BCRGetVibratorState	バイブレータの設定状態を取得します。	
BCRSetOutputMode	取得したバーコードデータの出力方法を設定します。	
BCRGetOutputMode	取得したバーコードデータの出力方法について情報を取得します。	
BCRGetSettings	バーコードリーダに関する全ての設定情報を取得します。	
BCRSetSettings	バーコードリーダに関する全ての設定情報を設定します。	
BCRSetDefault	バーコードリーダに関する全ての設定を初期化します。	

4.1.1. BCRPowerOn

バーコードリーダーの電源を入れます。

構文

```
BOOL BCRPowerOn(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

バーコードリーダーの電源が入って初期化できるまで、関数は戻りません。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.2. BCRPowerOff

バーコードリーダーの電源をオフします。

構文

```
BOOL BCRPowerOff(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.3. BCRGetPowerStatus

バーコードリーダーの電源状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetPowerStatus(  
    PBOOL pbPowerStatus  
);
```

パラメータ

pbPowerStatus

[out] ステータスへのポインタです。バーコードリーダーの電源がオンのときは TRUE、オフのときは FALSE になります。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.4. BCREnableTriggerKey

トリガキーを有効にします。

構文

```
BOOL BCREnableTriggerKey(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

初期設定では、トリガキーは有効に設定されています。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.5. BCRDisableTriggerKey

トリガキーを無効にします。

構文

```
BOOL BCRDisableTriggerKey(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

トリガキーを無効に設定した場合、バーコードを読み取るにはアプリケーションが BCRTriggerPress を呼ぶ必要があります。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.6. BCRGetTriggerKeyStatus

トリガキーの有効/無効状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetTriggerKeyStatus(  
    LPDWORD lpdwTriggerKeyState  
);
```

パラメータ

lpdwTriggerKeyStatus

[out] トリガキーのステータスへのポインタです。

BCR_TRIGGER_ENABLE : トリガキーが有効であることを示します。

BCR_TRIGGER_DISABLE : トリガキーが無効であることを示します。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.7. BCRSetTriggerKey

トリガキーとして使用するキーを設定します。

構文

```
BOOL BCRSetTriggerKey(
    DWORD dwTriggers
);
```

パラメータ

dwTriggers

[in] どのキーがトリガとして使用されているかを示す変数です。この変数は以下に定義される値のいずれかになります。

```
BCR_TRIGGER_SIDE
BCR_TRIGGER_CENTER
BCR_TRIGGER_SIDE | BCR_TRIGGER_CENTER
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

トリガとして設定可能なキーは、デバイスの両側面にあるトリガキー（サイドキー）、およびナビゲーションキーの中央にあるセンタキーです。なお、初期設定は BCR_TRIGGER_SIDE（トリガキー）です。それぞれのキーの仮想キーコードを下の表に示します。

表 6 : トリガキーと仮想キーコード

キー名称	仮想キーコード	備考
トリガキー(左)	0xE1	
トリガキー(右)	0xE6	
センタキー	0x0D (0xEA)	*1

*1: センタキーの仮想キーコードは通常 0x0D ですが、変数を BCR_TRIGGER_CENTER あるいは BCR_TRIGGER_SIDE | BCR_TRIGGER_CENTER に設定したときは 0xEA に変わります。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.8. BCRGetTriggerKey

トリガキーとして使用しているキーについて情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetTriggerKey(  
    LPDWORD lpTriggers  
);
```

パラメータ

lpTriggers

[out] トリガキー設定を示す変数へのポインタです。この変数は以下に示す定義値、あるいはその論理和となります。

```
BCR_TRIGGER_SIDE  
BCR_TRIGGER_CENTER  
BCR_TRIGGER_SIDE | BCR_TRIGGER_CENTER
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

変数の定義値に関しては、BCRSetTriggerKey の頁をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.9. BCRSetOutputMode

取得したバーコードデータの出力方法を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetOutputMode(  
    DWORD dwOutputMode  
);
```

パラメータ

dwOutputMode

[in] 出力方法を示す変数です。この変数は以下に示す定義値のいずれかになります。

```
BCR_OUTPUT_MODE_BUFFER           // バッファに保存  
BCR_OUTPUT_MODE_KEYCODE         // キーコードとして出力  
BCR_OUTPUT_MODE_CLIPBOARD       // クリップボードにコピー
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

初期設定は BCR_OUTPUT_MODE_CLIPBOARD です。

BCR_OUTPUT_MODE_BUFFER に設定した場合、読み取ったデータはバーコードリーダーのドライバのバッファに保存されます。BCRGetBarcode 関数を用いて、取得することができます。

BCR_OUTPUT_MODE_KEYCODE に設定した場合、読み取ったデータはアクティブなコントロールに対して、即座にキーコードとして出力されます。

BCR_OUTPUT_MODE_CLIPBOARD を設定した場合、読み取ったデータはクリップボードにコピーされ、アクティブなコントロールに対してペースト（貼り付け）されます。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.10. BCRGetOutputMode

取得したバーコードデータの出力方法についての情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetOutputMode(  
    LPDWORD lpOutputMode  
);
```

パラメータ

lpOutputMode

[out] 出力方法を示す変数へのポインタです。この変数は以下に示す定義値のいずれかになります。

```
BCR_OUTPUT_MODE_BUFFER           // バッファに保存  
BCR_OUTPUT_MODE_KEYCODE         // キーコードとして出力  
BCR_OUTPUT_MODE_CLIPBOARD       // クリップボードにコピー
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

初期設定はクリップボード出力 (BCR_OUTPUT_MODE_CLIPBOARD) です。
それぞれの定義値の持つ意味については、BCRSetOutputMode をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.11. BCRSetBuzzerStatus

ブザー音について設定します。音量とブザーに使用する wave ファイルを設定することができます。

構文

```
BOOL BCRSetBuzzerStatus(  
    DWORD dwBuzzerVolume,  
    LPCTSTR lpBeepFile  
);
```

パラメータ

dwBuzzerVolume

[in] ブザーの音量を示す変数です。値は以下に示す定義値のいずれかになります。

```
BCR_BUZZER_MUTE           // 無音  
BCR_BUZZER_VOLUME_LOW    // 最小音量  
BCR_BUZZER_VOLUME_MIDDLE // 中程度の音量  
BCR_BUZZER_VOLUME_HIGH   // 最大音量
```

lpBeepFile

[in] wave ファイルの名前を示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

音量の大きさは相対的なものです。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.12. BCRGetBuzzerStatus

ブザー音の設定状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetBuzzerStatus(  
    LPDWORD lpdwBuzzerVolume,  
    LPTSTR lpBeepFile  
);
```

パラメータ

lpdwBuzzerVolume

[out] ブザーの音量を示す変数へのポインタです。変数は以下に示す定義値のいずれかになります。

```
BCR_BUZZER_MUTE           // 無音  
BCR_BUZZER_VOLUME_LOW    // 最小音量  
BCR_BUZZER_VOLUME_MIDDLE // 中程度の音量  
BCR_BUZZER_VOLUME_HIGH   // 最大音量
```

lpBeepFile

[out] wave ファイルの名前を示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.13. BCRSetVibratorState

バイブレータの使用有無、およびその振動時間を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetVibratorState(  
    DWORD dwVibratorTime  
);
```

パラメータ

dwVibratorTime

[in] ミリ秒単位で指定する振動時間を示す変数です。この変数の有効範囲は 0~3000 です。なお、0 を指定すると、バイブレータは振動しません。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

初期設定は 0 (バイブレータ無効) です。

1 以上の数を設定すると、読み取りの度に指定した時間だけバイブレータが振動します。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.14. BCRGetVibratorState

バイブレータの設定状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetVibratorState(  
    LPDWORD lpVibratorTime  
);
```

パラメータ

lpVibratorTime

[out] ミリ秒単位で指定する振動時間を示す変数へのポインタです。バイブレータ無効の場合 0 です。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.15. BCRGetSettings

バーコードリーダーに関する設定情報を取得して、バッファに保存します。
本関数は H-15AJ との互換用に残されたものであり、通常は BCRGetSettingsEx をご使用ください。

構文

```
BOOL BCRGetSettings(  
    BCR_SETTINGS* lpSettingsData  
);
```

パラメータ

lpSettingsData
[out] 設定情報を保持する構造体へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

構造体"BCR_SETTINGS"の詳細については、別章の構造体をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.16. BCRSetSettings

保存されたバーコードリーダーに関する設定情報を復元します。
本関数は H-15AJ との互換用に残されたものであり、通常は BCRSetSettingsEx をご使用ください。

構文

```
BOOL BCRSetSettings(  
    BCR_SETTINGS* lpSettingsData  
);
```

パラメータ

lpSettingsData

[out] 設定情報を保持する構造体へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

構造体"BCR_SETTINGS"の詳細については、別章の構造体をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.17. BCRGetSettingsEx

バーコードリーダーに関する全ての設定情報を取得して、バッファに保存します。

構文

```
BOOL BCRGetSettingsEx(  
    BCR_SETTINGS_EX* lpSettingsDataEx  
);
```

パラメータ

lpSettingsDataEx
[out] 設定情報を保持する構造体へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

構造体"BCR_SETTINGS_EX"の詳細については、別章の構造体をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.18. BCRSetSettingsEx

保存されたバーコードリーダーに関する全ての設定情報を復元します。

構文

```
BOOL BCRSetSettingsEx(  
    BCR_SETTINGS_EX* lpSettingsDataEx  
);
```

パラメータ

lpSettingsDataEx

[out] 設定情報を保持する構造体へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

構造体"BCR_SETTINGS_EX"の詳細については、別章の構造体をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.1.19. BCRSetDefault

バーコードリーダーに関する全ての設定を初期化します。

構文

```
BOOL BCRSetDefault(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

構造体"BCR_SETTINGS"の詳細については、別章の構造体をご参照ください。
初期化される範囲は構造体 BCR_SETTINGS に含まれる全ての設定です。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.2. Reading

表 7 : Reading 関数一覧

関数名	解説	備考
BCRGetBarcode	読み取りしたバーコード情報を取得します。	
BCRClearBuffer	バーコードドライバのバッファに保存されているバーコードデータを消去します。	
BCRAbortScan	バーコードの読み取りを中止します。	
BCRTriggerPress	ソフトウェア・トリガボタンの押下をシミュレートし、バーコードのスキヤンを開始します。	
BCRTriggerRelease	ソフトウェア・トリガボタンの解放をシミュレートします。	

4.2.1. BCRGetBarcode

読み取ったバーコードのデータを取得します。

構文

```
BOOL BCRGetBarcode(  
    BYTE* pDecodeData,  
    LPDWORD lpdwLength,  
    LPDWORD lpFlag  
);
```

パラメータ

pDecodeData

[out] 取得したバーコードデータを保存するバッファへのポインタです。

lpdwLength

[out] 取得したバーコードデータの長さを示す変数へのポインタです。

lpFlag

[out] サポートしません。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

本関数を用いて、バーコードリーダーのドライバのバッファに保存されたバーコードデータを取り出すことができます。

読み取りが行われたとき、バーコードリーダーのドライバはウィンドウメッセージあるいはイベントを送信します。アプリケーションは、BCRGetLastReadEventStatusを呼ぶことによって読み取り結果のステータスを取得することができます。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.2.2. BCRClearBuffer

バーコードドライバのバッファに保存されているバーコードデータを消去します。

構文

```
BOOL BCRClearBuffer(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.2.3. BCRAbortScan

バーコードの読み取りを中止します。

構文

```
BOOL BCRAbortScan(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.2.4. BCRTriegerPress

バーコードリーダーのトリガ押下をシミュレートし、バーコードのスキャンを開始します。

構文

```
BOOL BCRTriegerPress(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

読み取りを行う関数です。BCRDisableTriggerKey 関数を用いてトリガを無効にした場合、本関数が唯一の読み取り開始機能になります。

通常、本関数を用いると、読み取りは指定した時間経過した後、終了しますが、BCRSetReadTimeOption で読み取り時間を 0 秒に設定した場合、BCRTriegerRelease で中止するまで読み取りは終了しません。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.2.5. BCRTriegerRelease

バーコードリーダーのトリガ解放をシミュレートします。

構文

```
BOOL BCRTriegerRelease(void);
```

パラメータ

なし

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3. Decoder Options

表 8 : Decoder Options 関数一覧

関数名	解説	備考
BCRSetReadableCode	読み取りを許可するバーコードの種類を設定します。	
BCRGetReadableCode	読み取りが許可されたバーコードの種類を取得します。	
BCRSetCodeOptions	各種バーコードの読み取りについて詳細な設定を行います。	
BCRGetCodeOptions	各種バーコードの読み取りについて詳細な設定を取得します。	
BCRSetSuffixChar	サフィックスを設定します。	
BCRGetSuffixChar	サフィックスを取得します。	
BCRSetReadMode	読み取りモード（単発、複数）を設定します。	
BCRGetReadMode	読み取りモードの設定状態を取得します。	
BCRSetReadTimeOption	読み取り時間を設定します。	
BCRGetReadTimeOption	読み取り時間を取得します。	
BCRSetMarginCheck	クワイエットゾーンの設定を行います。	
BCRGetMarginCheck	クワイエットゾーンの設定情報を取得します。	
BCRSetRedundancy	読み取り照合回数を設定します。	
BCRGetRedundancy	読み取り照合回数の設定情報を取得します。	
BCRSetNegativeBarcode	白黒反転コードの設定を行います。	
BCRGetNegativeBarcode	白黒反転コードの設定情報を取得します。	
BCRSendCommand	バーコードリーダーモジュールにコマンドを送信します。	
BCRGetCommand	モジュールに送信した最後のコマンドを取得します。	

4.3.1. BCRSetReadableCode

読み取りを許可するバーコードの種類を設定します。それぞれのバーコードについて、読み取りの許可、不許可を設定できます。

構文

```
BOOL BCRSetReadableCode(  
    BCR_READABLE_CODES BCRSymbology  
);
```

パラメータ

BCRSymbology

[in] 読み取りを許可するコードに関する情報を持つ構造体です。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

構造体" BCR_READABLE_CODES"の詳細については、別章の構造体をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.2. BCRGetReadableCode

読み取りが許可されたバーコードの種類についての設定状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetReadableCode(  
    BCR_READABLE_CODES BCRSymbology  
);
```

パラメータ

BCRSymbology

[in] 読み取りを許可するコードに関する情報を持つ構造体へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

構造体 "BCR_READABLE_CODES" の詳細については、別章の構造体をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.3. BCRSetCodeOptions

各種バーコードの読み取りについて、詳細な設定を行います。

構文

```
BOOL BCRSetCodeOptions(  
    PBCR_CODE_OPTIONS CodeOption  
);
```

パラメータ

CodeOption

[in] 詳細設定に関する情報を持つ構造体へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

構造体 "BCR_CODE_OPTIONS" の詳細については、別章の構造体をご参照ください。

また、設定可能なオプションはコードの種類によって異なります。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.4. BCRGetCodeOptions

各種バーコードの読み取りについて、詳細な設定情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetCodeOptions(  
    PBCR_CODE_OPTIONS CodeOption  
);
```

パラメータ

CodeOption

[out] 詳細設定に関する情報を持つ構造体へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

構造体“BCR_CODE_OPTIONS”の詳細については、別章の構造体をご参照ください。

本関数を用いて情報を取得する場合、BCR_CODE_OPTIONS 構造体中でバーコードの種類をあらかじめ明示する必要があります。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.5. BCRCSetSuffixChar

サフィックス（データ末尾に付加する文字）を設定します。

構文

```
BOOL BCRCSetSuffixChar(  
    DWORD dwSuffix  
);
```

パラメータ

dwSuffix

[in] 128 ASCII コードです。最大 4 文字まで付加することができます。また NULL を指定すると、文字を付加しません。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

複数文字を設定する場合、最小バイトが示す文字がサフィックスの先頭に來ます。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.6. BCRGetSuffixChar

サフィックスの情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetSuffixChar(  
    LPDWORD lpSuffix  
);
```

パラメータ

lpSuffix

[out] サフィックスを示す値へのポインタです。サフィックスは 128 ASCII コードとして表されます。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.7. BCRSetReadMode

読み取りモード（単発、複数）を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetReadMode(  
    DWORD dwReadMode  
);
```

パラメータ

dwReadMode

[in] 読み取りモードを示す変数です。値は以下に示す定義値のいずれかです。

```
BCR_READMODE_SINGLE        // 単発読み  
BCR_READMODE_MULTIPLE     // 複数読み
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

単発読みに設定した場合、読み取りが成功すると終了します。

複数読みに設定した場合、読み取りが成功すると再度読み取りを開始します。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.8. BCRGetReadMode

読み取りモードの設定状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetReadMode(  
    LPDWORD lpdwReadMode  
);
```

パラメータ

lpdwReadMode

[out] 読み取りモードを示す変数へのポインタです。値は以下に示す定義値のいずれかです。

```
BCR_READMODE_SINGLE        // 単発読み  
BCR_READMODE_MULTIPLE     // 複数読み
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

定義値の説明については BCRSetReadMode の頁をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.9. BCRSetReadTimeOption

読み取り時間を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetReadTimeOption(  
    DWORD dwReadTime  
);
```

パラメータ

dwReadTime

[in] 読み取り時間を示す変数です。有効範囲は 0~9、無限のいずれかで、単位は秒です。なお、無限の場合のみ以下に示す定義値があります。

```
BCR_READ_INDEFINITELY           // 読み取り時間無限
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

有限の値 (0~9) の場合は整数を、無限の場合には上述の定義値を設定してください。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.10. BCRGetReadTimeOption

読み取り時間を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetReadTimeOption(  
    LPDWORD lpdwReadTime  
);
```

パラメータ

lpdwReadTime

[out] 読み取り時間を示す変数へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.11. BCRSetMarginCheck

クワイエットゾーンオプション（マージンチェック）の設定を行います。

構文

```
BOOL BCRSetMarginCheck(  
    DWORD dwMargin  
);
```

パラメータ

dwMargin

[in] クワイエットゾーン設定を示す変数です。値は以下の定義値のいずれか一つです。

```
BCR_MARGIN_CHECK_NORMAL // default  
BCR_MARGIN_CHECK_NO  
BCR_MARGIN_CHECK_10F7  
BCR_MARGIN_CHECK_20F7  
BCR_MARGIN_CHECK_30F7  
BCR_MARGIN_CHECK_40F7  
BCR_MARGIN_CHECK_50F7  
BCR_MARGIN_CHECK_60F7
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

クワイエットゾーンオプションを変更することによって、元来指定されているスタートマージン、エンドマージン（バーコード前後の空白）より小さなマージンをもつラベルの読み取りが可能になります。ただし、部分読み取りや誤読の可能性が高くなりますので、可能な限り通常のマージンを持つラベルを使用してください。

対応情報

対応機種： H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル： bcrctl.h

インポートライブラリ： bcrctl.lib

4.3.12. BCRGetMarginCheck

クワイエットゾーン（マージンチェック）の設定情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetMarginCheck(  
    LPDWORD lpMargin  
);
```

パラメータ

lpMargin
[out] クワイエットゾーンの設定を示す変数へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.13. BCRSetRedundancy

読み取り照合回数の設定を行います。

構文

```
BOOL BCRSetRedundancy(  
    DWORD dwRedundancyCount  
);
```

パラメータ

dwRedundancyCount

[in] 照合回数を示す変数です。値は以下の定義値のいずれか一つです。

```
BCR_REDUNDANCY_0    // 読み取り 1 回、照合 0 回  
BCR_REDUNDANCY_1    // 読み取り 2 回、照合 1 回 (初期値)  
BCR_REDUNDANCY_2    // 読み取り 3 回、照合 2 回  
BCR_REDUNDANCY_3    // 読み取り 4 回、照合 3 回  
BCR_REDUNDANCY_4    // 読み取り 5 回、照合 4 回  
BCR_REDUNDANCY_5    // 読み取り 6 回、照合 5 回  
BCR_REDUNDANCY_6    // 読み取り 7 回、照合 6 回  
BCR_REDUNDANCY_7    // 読み取り 8 回、照合 7 回  
BCR_REDUNDANCY_8    // 読み取り 9 回、照合 8 回
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

照合回数とは、バーコードが送信される前に正しくデコードされなければならない回数です。より高い照合回数を設定した場合、読み取り速度は遅くなりますが、特に不完全な定義のバーコードを読み取るとき、読み取りの正確性は向上します。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.14. BCRGetRedundancy

読み取り照合回数の設定情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetRedundancy(  
    LPDWORD lpRedundancyCount  
);
```

パラメータ

lpRedundancyCount
[out] 照合回数を示す変数へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.15. BCRSetNegativeBarcode

通常（正転）・反転バーコードの読み取りの可／不可を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetNegativeBarcode(  
    DWORD dwNegativeFlag  
);
```

パラメータ

dwNegativeFlag

[in] 通常（正転）バーコード、および反転バーコードの読み取り設定を示す変数です。値は以下に示す定義値のいずれか、あるいは論理和になります。

```
BCR_BARCODE_POSITIVE    // 通常（正転）コード  
BCR_BARCODE_NEGATIVE    // 反転コード
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

初期値は BCR_BARCODE_POSITIVE です。

論理和 (BCR_BARCODE_POSITIVE | BCR_BARCODE_NEGATIVE) を設定すると、通常・反転いずれも読み取りが可能になります。ただし、通常に比べて読み取りが遅くなる可能性があります。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.16. BCRGetNegativeBarcode

通常（正転）・反転バーコードの読み取りの設定情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetNegativeBarcode(  
    LPDWORD lpNegativeFlag  
);
```

パラメータ

lpNegativeFlag

[out] 通常（正転）バーコード、および反転バーコードの読み取り設定を示す変数へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

パラメータの詳細については BCRSetNegativeBarcode の頁をご参照ください。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.17. BCRCSendCommand

バーコードリーダーモジュールにコマンドを送信します。

構文

```
BOOL BCRCSendCommand(  
    LPTSTR lpOptionsString  
);
```

パラメータ

lpOptionsString
[in] コマンドを示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

本関数はオプションです。

バーコードリーダーのモジュールが備える機能のうち、提供されている API では変更できないものをコマンド送信によって変更することができます (API で変更可能な機能を変更することはできません)。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.3.18. BCRGetCommand

バーコードリーダーに送った最後のコマンドについての情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetCommand(  
    LPTSTR lpOptionsString  
);
```

パラメータ

lpOptionsString
[out] コマンドを示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.4. Notification

表 9 : Notification 関数一覧

関数名	解説	備考
BCRGetReadNotification	読み取りに関するメッセージの値、あるいはイベントの名前を取得します。	
BCRGetLastReadEventStatus	最後に行った読み取りの状態を取得します。	

4.4.1. BCRGetReadNotification

バーコード読み取りに関するメッセージの値、あるいはイベントの名前を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetReadNotification(  
    UINT* pReadDataMsg,  
    LPTSTR lpReadDataEventName  
);
```

パラメータ

pReadDataMsg

[out] 送信されたメッセージの値を示す変数へのポインタです。

lpReadDataEventName

[out] 送信されたイベントの名前を示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

読み取りが成功あるいは失敗したとき、ドライバはウィンドウメッセージまたはイベントを送信します。

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.4.2. BCRGetLastReadEventStatus

最後に行った読み取りの状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetLastReadEventStatus(  
    LPDWORD lpdwStatus  
);
```

パラメータ

lpdwStatus

[out] 読み取り結果を示す変数へのポインタです。値は以下に示す定義値のいずれかになります。

```
BCR_READ_NOT_READY  
BCR_READ_GOOD  
BCR_READ_NO_DATA  
BCR_READ_TIMEOUT  
BCR_READ_DISABLED  
BCR_READ_ABORT
```

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.5. Information

表 10 : Information 関数一覧

関数名	解説	備考
BCRGetFirmwareVersion	バーコードリーダのファームウェアのバージョン情報を取得します。	
BCRGetDriverVersion	バーコードリーダドライバのバージョン情報を取得します。	
BCRGetLibraryVersion	バーコードリーダ制御ライブラリのバージョン情報を取得します。	

4.5.1. BCRGetFirmwareVersion

バーコードリーダーのファームウェアのバージョン情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetFirmwareVersion(  
    LPTSTR lpFirmwareVersion  
);
```

パラメータ

lpFirmwareVersion

[out] ファームウェアのバージョン情報を示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.5.2. BCRGetDriverVersion

バーコードリーダードライバのバージョン情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetDriverVersion(  
    LPTSTR lpDriverVersion  
);
```

パラメータ

lpDriverVersion

[out] バージョン情報を示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.5.3. BCRGetLibraryVersion

バーコードリーダー制御ライブラリのバージョン情報を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetLibraryVersion(  
    LPTSTR lpLibraryVersion  
);
```

パラメータ

lpLibraryVersion
[out] ライブラリのバージョン情報を示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15AJ, H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.6. 2D-IMAGER SETTINGS

表 11 : 2D-Imager Settings 関数一覧

関数名	解説	備考
BCRSetCameraLEDMode	バーコードリーダの LED モードの状態を設定します。	
BCRGetCameraLEDMode	バーコードリーダの LED モードの状態を取得します。	
BCRSetCameraAimerMode	バーコードリーダのエイミング有効/無効状態を設定します。	
BCRGetCameraAimerMode	バーコードリーダのエイミング有効/無効状態を取得します。	
BCRSetCentralReadingMode	バーコードリーダの中央読み機能の状態を設定します。	
BCRGetCentralReadingMode	バーコードリーダの中央読み機能の状態を設定します。	
BCRSetCollectiveLabelNumber	同時に読み取るラベルの個数を設定します。	
BCRGetCollectiveLabelNumber	同時に読み取るラベルの個数についての設定を取得します。	
BCRSetCaptureDecodeParallelMode	画像取得とデコードを並列で行うモードの有効/無効を設定します。	
BCRGetCaptureDecodeParallelMode	画像取得とデコードを並列で行うモードの有効/無効状態を取得します。	
BCRTakeSnapShot	スナップショットを撮影して Bitmap ファイルで保存します。	

4.6.1. BCRSetCameraLEDMode

バーコードリーダの LED モードの状態を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetCameraLEDMode(  
    DWORD dwLedMode  
);
```

パラメータ

dwLedMode

[in] LED モードのステータスを示す変数です。この変数は以下に示す定義値のいずれかになります。

BCR_CAMERA_LED_MODE_ENABLE :	LED モードが有効であることを示します。
BCR_CAMERA_LED_MODE_DISABLE :	LED モードが無効であることを示します。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15BJ
ヘッダファイル: `bcrc1.h`
インポートライブラリ: `bcrc1.lib`

4.6.2. BCRGetCameraLEDMode

バーコードリーダの LED モードの状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetCameraLEDMode(  
    LPDWORD lpdwLedMode  
);
```

パラメータ

lpdwLedMode
[out] LED モードのステータスへのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.6.3. BCRSetCameraAimerMode

バーコードリーダーのエイミング有効/無効状態を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetCameraAimerMode(  
    DWORD dwAimerMode  
);
```

パラメータ

dwAimerMode

[in] エイミングの状態を示す変数です。この変数は以下に示す定義値のいずれかになります。

BCR_AIMER_MODE_ENABLE : エイミングが有効であることを示します。
BCR_AIMER_MODE_DISABLE : エイミングが無効であることを示します。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.6.4. BCRGetCameraAimerMode

バーコードリーダーのエイミング有効/無効状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetCameraAimerMode(  
    LPDWORD lpdwAimerMode  
);
```

パラメータ

lpdwAimerMode
[out] エイミングの状態を示す変数へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.6.5. BCRSetCentralReadingMode

バーコードリーダーの中央読み機能を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetCentralReadingMode(  
    BOOL bEnabled  
);
```

パラメータ

bEnabled

[in] 中央読み機能の状態を示す変数です。有効のときは TRUE、無効のときは FALSE とします。

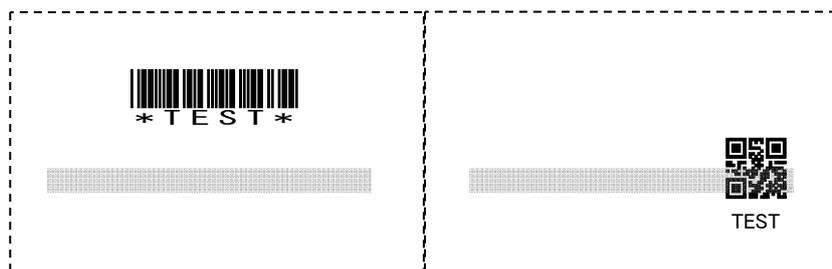
戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

中央読み機能が有効の場合、下図のように画像中心から外れたコードは読み取りを行いません。複数のコードが近接している場合に目的のコードのみを読み取るための機能となります。



対応情報

対応機種: H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.6.6. BCRGetCentralReadingMode

バーコードリーダーの中央読み機能の有効/無効状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetCentralReadingMode(  
    PBOOL pbEnabled  
);
```

パラメータ

pbEnabled
[out] 中央読み機能の状態を示す変数へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.6.7. BCRSetCollectiveLabelNumber

同時に読み取るラベルの個数を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetCollectiveLabelNumber(  
    DWORD dwNumber  
);
```

パラメータ

dwNumber
[in] 同時に読み取るラベルの個数を示す変数です。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.6.8. BCRGetCollectiveLabelNumber

同時に読み取るラベルの個数についての設定を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetCollectiveLabelNumber(  
    LPDWORD lpdwNumber  
);
```

パラメータ

lpdwNumber

[out] 同時に読み取るラベルの個数を示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.6.9. BCRSetTriggerRepeatMode

トリガリピートモードの有効/無効を設定します。

構文

```
BOOL BCRSetTriggerRepeatMode(  
    BOOL bTargetScan  
);
```

パラメータ

bTargetScan

[in] モードの状態を示す変数です。モード有効のときは TRUE、無効のときは FALSE とします。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。

関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

リードタイムを 0 秒以外に設定している場合は、トリガーキーを押すと、エイミングがリードタイムで指定した時間照射します。照射中にもう一度トリガーキーを押すと読み取りを行います。

リードタイムを 0 秒に設定している場合は、トリガーキーを押している間エイミングを照射します。キーを放すと 1 秒間読み取りを行います。なお、トリガリピート機能を有効にした場合は、中央読み取りモードになります。

対応情報

対応機種: H-15BJ

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

4. 6. 10. BCRGetTriggerRepeatMode

トリガリピートモードの有効/無効状態を取得します。

構文

```
BOOL BCRGetTriggerRepeatMode(  
    PBOOL pbTargetScan  
);
```

パラメータ

pbTargetScan
[out] モードの状態を示す変数へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

4.6.11. BCRTakeSnapShot

スナップショットを撮影して Bitmap ファイルで保存します。

構文

```
BOOL BCRTakeSnapShot(  
    LPTSTR lpFileName  
);
```

パラメータ

lpFileName
[in] Bitmap 画像ファイルの名前を示す文字列へのポインタです。

戻り値

関数が成功したとき、TRUE を返します。
関数が失敗したとき、FALSE を返します。

解説

なし

対応情報

対応機種: H-15BJ
ヘッダファイル: bcrctl.h
インポートライブラリ: bcrctl.lib

5. 定義

5.1. 構造体

表 12 : 構造体一覧

名前	解説	備考
BCR_CODE_OPTIONS	各種バーコードごとの詳細設定に関する情報を含んでいます。	
BCR_READABLE_CODES	読み取りが許可されたバーコード種に関する情報を含んでいます。	
BCR_READ_OPTIONS	読み取りに関する設定情報を含んでいます。	
BCR_SETTINGS	バーコードリーダに関する全ての情報を含んでいます。	

5.1.1. BCR_CODE_OPTIONS

各種バーコードの詳細設定に関する情報を含む構造体です。

構文

```
typedef struct _BCR_CODE_OPTIONS {
    SYMBOLOLOGY_ID Symbology;
    DWORD dwMode;
    DWORD dwCheckDigit;
    DWORD dwTransmitCD;
    DWORD dwTransmitSTSP;
    DWORD dwSpecialOptions;
    DWORD dwReserved;
} BCR_CODE_OPTIONS, *LPBCR_CODE_OPTIONS;
```

メンバ変数

Symbology

バーコードの種類である列挙体"SYMBOLOLOGY_ID"です。

dwMode

数種のバーコードが持つ固有のオプションを示す変数です。

対応するバーコードとそれぞれのもつオプション (Mode)、および初期設定を以下の表に示します。

表 13 : バーコードのオプション変数

コード名	定義値	初期設定
Code 39 Tri-Optic	BCRCO_NORMAL_CODE39 BCRCO_CODE39_FULLASCII BCRCO_CODE39_FULLASCII_IF_POSSIBLE BCRCO_ITALIAN_PHARM_ONLY BCRCO_ITALIAN_PHARM_IF_POSSIBLE	BCRCO_NORMAL_CODE39
Codabar NW-7	BCRCO_CODABAR_NORMAL BCRCO_ABC_CODE_ONLY BCRCO_CX_CODE_ONLY BCRCO_CODABAR_ABC_CX	BCRCO_CODABAR_NORMAL
TELEPEN	BCRCO_TELEPEN_MODE_NUMERIC BCRCO_TELEPEN_MODE_ASCII	BCRCO_TELEPEN_MODE_NUMERIC
Code 128 GS1-128 (旧 UCC/EAN128)	BCRCO_EAN128_DISABLE BCRCO_EAN128_ENABLE_ONLY BCRCO_ENA128_ENABLE_IFPOSSIBLE	BCRCO_EAN128_DISABLE

dwCheckDigit

チェックディジット設定を示す変数です。

対応するバーコードとそれぞれのもつ設定（定義値）、および初期設定を以下の表に示します。

表 14 : バーコードのチェックディジット変数

コード名	定義値	初期設定
Code 39 Tri-Optic	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT BCRCO_CHECK_DIGIT	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT
Codabar NW-7	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT BCRCO_CHECK_DIGIT	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT
Code 2of5 Industrial 2 of 5 Interleaved 2 of 5 S-Code Matrix 2of5	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT BCRCO_CHECK_DIGIT	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT
IATA	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT BCRCO_IATA_CHECK_FC_SN_ONLY BCRCO_IATA_CHECK_CPN_FC_SN BCRCO_IATA_CHECK_CPN_AC_FC_SN	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT
MSI/Plessey	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT BCRCO_MSI_PLESSEY_1CD_MOD10 BCRCO_MSI_PLESSEY_MOD10_MOD10 BCRCO_MSI_PLESSEY_MOD10_MOD11 BCRCO_MSI_PLESSEY_MOD11_MOD10 BCRCO_MSI_PLESSEY_MOD11_MOD11	BCRCO_MSI_PLESSEY_1CD_MOD10
Code 93	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT BCRCO_CHECK_DIGIT	BCRCO_CHECK_DIGIT
CODE11	BCRCO_NOT_CHECK_DIGIT BCRCO_CODE11_CHECK_1CD BCRCO_CODE11_CHECK_2CD BCRCO_CHECK_DIGIT_AUTO	BCRCO_CHECK_DIGIT_AUTO

dwTransmitCD

チェックディジット(CD)送信の有無を示す変数です。

対応するバーコードとそれぞれのもつチェックディジットオプション（定義値）、および初期設定を以下の表に示します。

表 15 : バーコードのチェックディジット変数（オプション）

コード名	定義値	初期設定
UPC-A UPC-A Add-on	BCRCO_UPC_NOLEADINGO_TRANSMITCD BCRCO_UPC_NOLEADINGO_NOT_TRANSMITCD BCRCO_UPC_LEADINGO_TRANSMITCD BCRCO_UPC_LEADINGO_NOT_TRANSMITCD	BCRCO_UPC_NOLEADINGO_TRANSMITCD
UPC-E UPC-E Add-on	BCRCO_UPC_NOLEADINGO_TRANSMITCD BCRCO_UPC_NOLEADINGO_NOT_TRANSMITCD BCRCO_UPC_LEADINGO_TRANSMITCD BCRCO_UPC_LEADINGO_NOT_TRANSMITCD	BCRCO_UPC_NOLEADINGO_TRANSMITCD
EAN-13 EAN13 Add-on	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_TRANSMIT_CD
EAN-8 EAN8 Add-on	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_TRANSMIT_CD
Code 39 Tri-Optic	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_TRANSMIT_CD
Codabar NW-7	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_TRANSMIT_CD
Code 2of5 Industrial 2 of 5 Interleaved 2 of 5 S-Code Matrix 2of5	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_TRANSMIT_CD
IATA	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_TRANSMIT_CD
MSI/Plessey	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD1 BCRCO_TRANSMIT_CD1_CD2	BCRCO_TRANSMIT_CD1
UK/Plessey	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_TRANSMIT_CD
Code 93	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD
CODE11	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD
Korean Postal Authority code	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD BCRCO_TRANSMIT_CD	BCRCO_NOT_TRANSMIT_CD

dwTransmitSTSP

スタート、ストップキャラクタの送信設定を示す変数です。
 対応するバーコードと、定義値および初期設定を以下の表に示します。

表 16 : バーコードのスタート/ストップキャラクタ変数

コード名	定義値	初期設定
Code 39	BCRCO_NOT_TRANSMIT_STSP	BCRCO_NOT_TRANSMIT_STSP
Tri-Optic	BCRCO_TRANSMIT_STSP	
Codabar	BCRCO_NOT_TRANSMIT_STSP	BCRCO_NOT_TRANSMIT_STSP
NW-7	BCRCO_STSP_ABCD BCRCO_STSP_abcd BCRCO_STSP_ABCD_TN_E BCRCO_STSP_abcd_tn_e BCRCO_STSP_DC1DC2DC3DC4	

dwSpecialOptions

数種のバーコード種がもつ特殊設定を示す変数です。
対応するバーコードと、定義値および初期設定を以下の表に示します。

表 17 : バーコードの特殊設定変数

コード名	定義値	初期設定
Code 39 Tri-Optic	BCRCO_DISABLE_CONCATENATION BCRCO_ENABLE_CONCATENATION	BCRCO_DISABLE_CONCATENATION
Codabar NW-7	BCRCO_DISABLE_SPACE_INSERTION BCRCO_ENABLE_SPACE_INSERTION	BCRCO_DISABLE_SPACE_INSERTION
Code 2of5 Industrial 2 of 5 Interleaved 2 of 5 S-Code Matrix 2of5	BCRCO_D2OF5_NOT_CHECK_SPACE BCRCO_D2OF5_CHECK_SPACE	BCRCO_D2OF5_NOT_CHECK_SPACE
Code 128 GS1-128 (旧 UCC/EAN128)	BCRCO_DISABLE_CONCATENATION BCRCO_ENABLE_CONCATENATION	BCRCO_DISABLE_CONCATENATION
Code 93	BCRCO_DISABLE_CONCATENATION BCRCO_ENABLE_CONCATENATION	BCRCO_DISABLE_CONCATENATION

dwReserved

予約

解説

本構造体は `BCRSetCodeOptions` / `BCRGetCodeOptions` によって使用されます。いずれの関数で使用する時も、パラメータ *Symbology* はユーザーがあらかじめ定義しておく（扱うコードの種類を指定しておく）必要があります。

対応情報

ヘッダファイル: `bcrctl.h`

インポートライブラリ: `bcrctl.lib`

5.1.2. BCR_READABLE_CODES

この構造体は読み取りを許可するバーコードについての情報を含んでいます。

構文

```
typedef struct _BCR_READABLE_CODES {  
    DWORD dwSize;  
    DWORD dwValidFileds;  
    DWORD BCR_UPC:1;  
    DWORD BCR_UPC_2:1;  
    DWORD BCR_UPC_5:1;  
    DWORD BCR_EAN:1;  
    DWORD BCR_EAN_2:1;  
    DWORD BCR_EAN_5:1;  
    DWORD BCR_CODE39:1;  
    DWORD BCR_TRIOPTIC:1;  
    DWORD BCR_CODABAR:1;  
    DWORD BCR_INDUSTRIAL_2of5:1;  
    DWORD BCR_INTERLEAVED_2of5:1;  
    DWORD BCR_SCODE:1;  
    DWORD BCR_MATRIX_2of5:1;  
    DWORD BCR_CHINESE_POST_MATRIX:1;  
    DWORD BCR_KOREAN_POSTAL_AUTHORITY:1;  
    DWORD BCR_IATA:1;  
    DWORD BCR_MSI_PLESSEY:1;  
    DWORD BCR_TELEPEN:1;  
    DWORD BCR_UK_PLESSEY:1;  
    DWORD BCR_CODE128:1;  
    DWORD BCR_CODE93:1;  
    DWORD BCR_CODE11:1;  
    DWORD BCR_RSS_14:1;  
    DWORD BCR_RSS_LIMITED:1;  
    DWORD BCR_RSS_EXPANDED:1;  
    DWORD BCR_DATAMATRIX_ECC000:1;  
    DWORD BCR_DATAMATRIX_ECC200:1;  
    DWORD BCR_AZTEC:1;  
    DWORD BCR_AZTEC_RUNES:1;  
    DWORD BCR_QR_CODE:1;  
};
```

```
DWORD BCR_MAXICODE:1;
DWORD BCR_PDF417:1;
DWORD BCR_MICRO_PDF417:1;
DWORD BCR_COMPOSITE_GS1:1;
DWORD BCR_COMPOSITE_EAN_UPA:1;
DWORD BCR_CODABLOCK_F:1;
DWORD BCR_MICRO_QR:1;
DWORD BCR_CHINESE_SENSIBLE_CODE:1;
DWORD BCR_INTELLIGENT_MAIL_BARCODE:1;
DWORD BCR_POSTNET:1;
DWORD BCR_JPN_CUSTOMER_BARCODE:1;
DWORD BCR_PLANET:1;
DWORD BCR_NETHERLANDS_KIX_CODE:1;
DWORD BCR_UK_POSTAL:1;
DWORD BCR_AUSTRALIAN_POSTAL:1;
} BCR_READABLE_CODES, *LPBCR_READABLE_CODES;
```

メンバ変数

dwSize

構造体のサイズをバイト単位で示す変数です。
このメンバ変数は構造体を使用される前に初期化されます。

dwValidFiledcs

読み取りを許可できるコードの最大数を定義します。

BCR_UPC:1

UPC コードを読み取り許可するかどうかを示します。

BCR_UPC_2:1

UPC コード+アドオン 2 桁を読み取り許可するかどうかを示します。

BCR_UPC_5:1

UPC コード+アドオン 5 桁を読み取り許可するかどうかを示します。

以下同様。

解説

本構造体は `BCRSetReadablecode / BCRGetReadablecode` によって使用されます。

対応情報

ヘッダファイル: `bcrc1.h`

インポートライブラリ: `bcrc1.lib`

5.1.3. BCR_READ_OPTIONS

読み取りオプションに関する情報を含む構造体です。

構文

```
typedef struct _BCR_READ_OPTIONS {  
    DWORD dwReadMode;  
    DWORD dwReadTime;  
    DWORD dwMargin;  
    DWORD dwRedundancy;  
    DWORD dwNegativeBarcode;  
    DWORD dwScanAngle;  
} BCR_READ_OPTIONS, *PBCR_READ_OPTIONS;
```

メンバ変数

dwReadMode

BCRSetReadMode() の頁をご参照ください。

dwReadTime

BCRSetReadTimeOption() の頁をご参照ください。

dwMargin

BCRSetMarginCheck() の頁をご参照ください。

dwRedundancy

BCRSetRedundancy() の頁をご参照ください。

dwNegativeBarcode

BCRSetNegativeBarcode() の頁をご参照ください。

dwScanAngle

H-15AJ との互換性のための変数となります。

解説

本構造体は BCRGetSettings / BCRSetSettings 関数のパラメータである構造体"BCR_SETTINGS"、および BCRGetSettingsEx / BCRSetSettingsEx 関数のパラメータである構造体"BCR_SETTINGS_EX"で使用されております。

対応情報

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

5.1.4. BCR_READ_OPTIONS_2D

2D イメージャの読み取りオプションに関する情報を含む構造体です。

構文

```
typedef struct _BCR_READ_OPTIONS_2D {
    BOOL CentralReading;
    DWORD dwCollectiveLabelNumber;
    BOOL CapDecParallelMode;
    DWORD Reserved;
} BCR_READ_OPTIONS_2D, *PBCR_READ_OPTIONS_2D;
```

メンバ変数

CentralReading

BCRSetCentralReadingMode() の頁をご参照ください。

dwCollectiveLabelNumber

BCRSetCollectiveLabelNumber() の頁をご参照ください。

CapDecParallelMode

BCRSetCaptureDecodeParallelMode() の頁をご参照ください。

Reserved

予約

解説

本構造体は BCRGetSettingsEx / BCRSetSettingsEx 関数のパラメータである構造体 "BCR_SETTINGS_EX" で使用されております。

対応情報

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

5.1.5. BCR_CAMERA_OPTIONS

2D イメージャの動作設定に関する情報を含む構造体です。

構文

```
typedef struct _BCR_READ_OPTIONS_2D {  
    DWORD dwCameraLEDMode;  
    DWORD dwAimerMode;  
    DWORD Reserved1;  
    DWORD Reserved2;  
} BCR_READ_OPTIONS_2D, *PBCR_READ_OPTIONS_2D;
```

メンバ変数

dwCameraLEDMode

BCRSetCameraLEDMode() の頁をご参照ください。

dwAimerMode

BCRSetCameraAimerMode() の頁をご参照ください。

Reserved1

予約

Reserved2

予約

解説

本構造体は BCRGetSettingsEx / BCRSetSettingsEx 関数のパラメータである構造体 "BCR_SETTINGS_EX" で使用されております。

対応情報

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

5.1.6. BCR_SETTINGS

バーコードに関する設定情報を含む構造体です。

構文

```
typedef struct _BCR_SETTINGS {
    DWORD dwPowerStatus;
    DWORD dwTriggerKeyState;
    DWORD dwTriggerKey;
    DWORD dwOutputMode;
    DWORD dwBuzzerVolume;
    TCHAR szBeepFile[BCR_MAX_PATH];
    DWORD dwVibratorState;
    DWORD dwSuffixChar;
    BCR_READ_OPTIONS ReadOptions;
    BCR_READABLE_CODES ReadableCode;
    BCR_CODE_OPTIONS CodeOptions[MAX_CODES];
    TCHAR szAdditionalCommands[BCR_MAX_CMD_LENGTH];
} BCR_SETTINGS, *LPBCR_SETTINGS;
```

メンバ変数

dwPowerStatus

BCRGetPowerStatus() の頁をご参照ください。

dwTriggerKeyState

BCRSetTriggerKeyStatus() の頁をご参照ください。

dwTriggerKey

BCRSetTriggerKey() の頁をご参照ください。

dwOutputMode

BCRSetOutputMode() の頁をご参照ください。

dwBuzzerVolume

BCRSetBuzzerStatus() の頁をご参照ください。

szBeepFile

BCRSetBuzzerStatus() の頁をご参照ください。

dwVibratorState

BCRSetVibratorState() の頁をご参照ください。

dwSuffixChar

BCRSetSuffixChar() の頁をご参照ください。

ReadOptions

BCR_READ_OPTIONS 構造体です。

ReadableCode

BCR_READABLE_CODES 構造体です。

CodeOptions

BCR_CODE_OPTIONS 構造体です。

szAdditonalCommands

BCRSendCommand() の頁をご参照ください。

解説

本構造体は BCRGetSettings / BCRSetSettings 関数によって使用されます。この両関数は H-15AJ との互換用に残されたものであり、通常は BCRGetSettingsEx / BCRSetSettingsEx をご使用ください。

対応情報

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

5.1.7. BCR_SETTINGS_EX

バーコードに関する全ての設定情報を含む構造体です。

構文

```
typedef struct _BCR_SETTINGS {
    DWORD dwSize;
    DWORD dwPowerStatus;
    DWORD dwTriggerKeyState;
    DWORD dwTriggerKey;
    DWORD dwOutputMode;
    DWORD dwBuzzerVolume;
    TCHAR szBeepFile[BCR_MAX_PATH];
    DWORD dwVibratorState;
    DWORD dwSuffixChar;
    BCR_READ_OPTIONS ReadOptions;
    BCR_READABLE_CODES ReadableCode;
    BCR_CODE_OPTIONS CodeOptions[MAX_CODES];
    TCHAR szAdditionalCommands[BCR_MAX_CMD_LENGTH];
    BCR_READ_OPTIONS_2D ReadOptions2D;
    BCR_CAMERA_OPTIONS CameraOptions;
} BCR_SETTINGS, *LPBCR_SETTINGS;
```

メンバ変数

dwSize

本構造体のサイズが格納されます。

dwPowerStatus

BCRGetPowerStatus() の頁をご参照ください。

dwTriggerKeyState

BCRSetTriggerKeyStatus() の頁をご参照ください。

dwTriggerKey

BCRSetTriggerKey() の頁をご参照ください。

dwOutputMode

BCRSetOutputMode() の頁をご参照ください。

dwBuzzerVolume

BCRSetBuzzerStatus() の頁をご参照ください。

szBeepFile

BCRSetBuzzerStatus () の頁をご参照ください。

dwVibratorState

BCRSetVibratorState() の頁をご参照ください。

dwSuffixChar

BCRSetSuffixChar() の頁をご参照ください。

ReadOptions

BCR_READ_OPTIONS 構造体です。

ReadableCode

BCR_READABLE_CODES 構造体です。

CodeOptions

BCR_CODE_OPTIONS 構造体です。

szAdditonalCommands

BCRSendCommand() の頁をご参照ください。

ReadOptions2D

BCR_READ_OPTIONS_2D 構造体です。

CameraOptions

BCR_CAMERA_OPTIONS 構造体です。

解説

本構造体は BCRGetSettingsEx / BCRSetSettingsEx 関数によって使用されます。

対応情報

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

5.2. 列挙体

表 18 : 列挙体一覧

名前	解説	備考
SYMBOLGY_ID	各種バーコードの名称を定義しています。	

5.2.1. SYBBOLOGY_ID

各コード特有の設定項目を持つバーコードの種別を定義している列挙体です。

構文

```
typedef enum _SYBBOLOGY_ID {  
    SYBBOLOGY_UPCA = 1;  
    SYBBOLOGY_UPCE;  
    SYBBOLOGY_EAN8;  
    SYBBOLOGY_EAN13;  
    SYBBOLOGY_Code39;  
    SYBBOLOGY_Codabar;  
    SYBBOLOGY_2of5andSCode;  
    SYBBOLOGY_KoreanPostalAuthority;  
    SYBBOLOGY_IATA;  
    SYBBOLOGY_MSIPlessey;  
    SYBBOLOGY_Telepen;  
    SYBBOLOGY_UKPlessey;  
    SYBBOLOGY_Code128andEAN128;  
    SYBBOLOGY_Code93;  
    SYBBOLOGY_Code11;  
    SYBBOLOGY_GS1DataBar;  
    SYBBOLOGY_Composite;  
    SYBBOLOGY_PDF417;  
    SYBBOLOGY_MicroPDF417;  
    MAX_CODES_OPTIONS = SYBBOLOGY_MicroPDF417;  
    SYBBOLOGY_NODATA = 0xFFFF;  
} SYBBOLOGY_ID;
```

表 19 : バーコードの列挙定数一覧

メンバ	解説 (対応コード)
SYMBOLGY_UPCA	UPC-A
SYMBOLGY_UPCE	UPC-E
SYMBOLGY_EAN8	EAN-8
SYMBOLGY_EAN13	EAN-13
SYMBOLGY_Code39	Code 39 Italian Pharmaceutical
SYMBOLGY_Codabar	Codabar NW-7
SYMBOLGY_2of5andSCode	Code 2of5 Industrial 2 of 5 Interleaved 2 of 5 S-Code Matrix 2of5
SYMBOLGY_KoreanPostalAuthority	Korean Postal Authority code
SYMBOLGY_IATA	IATA
SYMBOLGY_MSIPlessey	MSI/Plessey
SYMBOLGY_Telepen	TELEPEN
SYMBOLGY_UKPlessey	UK/Plessey
SYMBOLGY_Code128andEAN128	Code 128 GS128 (旧 UCC/EAN128)
SYMBOLGY_Code93	Code 93
SYMBOLGY_Code11	CODE11
SYMBOLGY_GS1DataBar	GS1 DataBar (旧 RSS)
SYMBOLGY_Composite	EAU.UCC Composite bar code
SYMBOLGY_PDF417	PDF417
SYMBOLGY_MicroPDF417	MicroPDF417

解説

本列挙体は BCRSetCodeOptions / BCRGetCodeOptions 関数のパラメータである構造体 "BCR_CODE_OPTIONS" で使用されます。

対応情報

ヘッダファイル: bcrctl.h

インポートライブラリ: bcrctl.lib

製品名 : H-15BJ シリーズ
仕様書名: H-15BJ バーコードリーダー制御ライブラリ仕様書
発行番号: Rev.1.03
管理番号: SI14042

株式会社オプトエレクトロニクス

本社 〒335-0002 埼玉県蕨市塚越 4-12-17

TEL 048-446-1181 FAX 048-446-1180

大阪営業所 〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町 3-4-14 三興ビル 7F

TEL 06-6251-0072 FAX 06-6251-0076

URL: <http://home.opto.co.jp>

e-mail: sales@opto.co.jp
